(仮称)向日	·新築(簡易版)2006年版 市上植野町計画新美工事	横に数値またはコメントを記入	■評価ソフト:		CASBEE-N	Cb_2006(v	.1.1)	
スコアシート	>							解説シートの 探点結果
B康項目		環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・非		住居·福沙	重み	全体	20-Jim Gall Jin
		AND THE PARTY OF T	評価点	重み 係数	評価点	係数		建物全体 住居
重要物の	の環境品質・性能			0.40		i	3.1	
-1 室内系 1 <u>音環境</u>	**		2.6	0.40	3.2	1.00	3.3	
1.1	騒音		3.0	0.13	3.0	0.29	0.1	1
	 暗騒音レベル 		3.0	1.00	3.0	1.00		3.0 3.0
	2 投機額音対策		-	-	-			0.0 0.0
1.2	2 连音		3.0	0.40	3.5	0.50		30 30
	1 開口部遮音性能 2 界壁遮音性能		3.0 3.0	1.00	4.0	0.30		3.0 3.0 0.0 4.0
	3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	4.0	0.20		0.0 4.0
	4 界床遮音性能(重量衝擊源)		3.0	-	3.0	0.20		0.0 3.0
	B 吸音		1.0	0.20	3.0	0.21		1.0 3.0
2 温熱理	室温制御		3.0	0.35	3.0	1.00	3.0	
2.1	主温利仰 1 室温設定		3.0	0.50	3.0	0.50		3.0 3.0
	2 負荷変動·追従制御性			-		-		0.0
	3 外皮性能		3.0	0.40	3.0	0.40		3.0 3.0
	4 ゾーン別制御性			-	-	-		0.0
	5 温度·温度制御			-		-		0.0 0.0
	6 個別制即 7 時間外空間							0.0
	8 監視システム							0.0
2.2	2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20		3.0 3.0
2.3	空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30		3.0 3.0
3 光·視3			3.0	0.25	3.0	1.00	3.0	
3.1	昼光利用 1 局半率		3.0	0.30	3.0	0.30		3.0 3.0
	2 方位別開口		3.0	0.00	3.0	0.30		3.0 3.0
	3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20		3.0 3.0
3.2	グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30		
	1 照明器具のグレア		•	-		-		0.0 0.0
	2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00		3.0 3.
3.3	1 照度		3.0	0.15	3.0	0.15 1.00		3.0 3.0
	2 無度均斉度		3.0	1.00	3.0	1.00		0.0 0.0
	照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25		3.0 3.0
4 空気質			4.2	0.25	4.2	1.00	4.2	
4.1	発生源対策 1 化学物質汚染	F☆☆☆☆を床・壁・天井全てに使用	5.0 5.0	0.60	5.0 5.0	0.63		5.0 5.0
	10年初日25年 2 アスペスト対策	ドガガガガを体・空・大井主 じに使用	5.0	1.00	5.0	1.00		0.0 0.0
	3 ダニ・カビ等			-	-	-		0.0 0.0
	4 レジオネラ対策			-		-		0.0 0.0
4.2	換気		3.0	0.40	3.0	0.38		
	1 換気量 2 自然換気性能		3.0	0.50	3.0	0.33		3.0 3.0
	3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33		3.0 3.0
	4 給気計画			-		-		0.0 0.0
4.3	運用管理			-	•	-		
	1 CO ₂ の監視			-				0.0
-2 + 	2 喫煙の制御			0.30			2.2	0.0
1 機能性			4.4	0.30	3.6	1.00	3.3	
1.1	機能性・使いやすさ		4.0	0.60	4.0	0.60	0.1	
	1 広さ・収納性			-				0.0 0.0
	2 高度情報通信設備対応	ハートビル法利用円滑化基準適用			4.0	1.00		0.0 4.0
10	3 パリアフリー計画 2 心理性・快適性	・・・ことは行用口用し産率超出	4.0	1.00	3.0	0.40		4.0
1.2	1 広さ感・景観	1	0.0	-	3.0	0.50		0.0 3.0
	2 リフレッシュスペース			-	-	-		0.0
	3 内装計画	コーディネーターによるカラーメニューを購入者が選択	5.0	1.00	3.0	0.50		5.0 3.0
2 耐用性			3.3	0.31		-	3.3	ł
2.1	1 耐震性	1	3.0	0.48				3.0
	2 免震・制振性能	1	3.0	0.20		-		3.0
2.2	? 部品・部材の耐用年数		4.0	0.33		-		
	1 外壁仕上げ材の補修必要間隔	CASBEE補助資料、耐用年数一覧表より	4.0	0.29		-		4.0
	 主要内装仕上げ材の更新必要問隔 配管・配線材の更新必要問隔 	CASBEE補助資料、耐用年数一覧表より CASBEE補助資料、耐用年数一覧表より	4.0	0.12		-		4.0
	3 配管・配線材の更新必要間隔 4 主要設備機器の更新必要間隔	CASBEE補助資料、耐用年数一見衣より CASBEE補助資料、耐用年数一覧表より	4.0	0.29				4.0
2.3	3 通切な更新		+.0	-				
	1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新			-	l .	-		
	2 配管・配線材の更新		•	-		-		11 1
	3 主用設備機器の更新				•	-		
2.4	信頼性 1 空間・操気設備		3.2	0.19	:	i -		3.0
	1 空間・換気設備 2 給排水・衛生設備	1	3.0	0.20				3.0
	3 電気設備	1	3.0	0.20		-		3.0
			3.0	0.20		-		3.0
	4 機械·配管支持方法 5 通信·情報設備	浸水のない処に設置	4.0	0.20				4.0

3 対応性・更新性 3.1 空間のゆとり		3.0	0.29	2.7	1.00	2.7	
1 階高のゆとり		_	1	2.0	0.60		0.0
2 空間の形状・自由さ				3.0	0.40		0.0
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.50		0.0
3.3 設備の更新性		3.0	1.00	5.0	0.50		0.0
1 空調配管の更新性		3.0	0.17				3.0
2 給排水管の更新性		3.0	0.17				3.0
3 電気配線の更新性		3.0	0.17		1		3.0
4 通信配線の更新性		3.0	0.11				3.0
5 設備機器の更新性		3.0	0.11				3.0
6 パックアップスペース		3.0	0.22		-		3.0
3 室外環境(敷換内)		3.0	0.30			2.8	3.0
			•	-			
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30	•		2.0	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.5	0.30		-	3.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域性を配慮した豊かな住室間を創出	4.0	0.50		-		4.0
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-			3.0
R 建築物の環境負荷低減性			!		1	3.2	
-1 エネルギー			0.40		-	3.6	
1 建物の熱負荷抑制		3.0	0.40			3.0	3.0
		3.0	0.40			3.0	3.0
2 自然エネルギー利用				*		3.0	- 0.0
2.1 自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	•	-		3.0
2.2 自然エネルギーの変換利用	断勢等級が3等級	3.0	0.50			4.7	3.0
3 設備システムの高効率化	前訟寺駅から寺駅	4.7	0.40	•	<u> </u>	4.7	4.7
4 効率的運用		•	-			-	
4.1 モニタリング		•	-	-	-		0.0
4.2 運用管理体制		-	-	•	-		0.0
├2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.1	
1 水黄源保護		3.0	0.15	•	-	3.0	
1.1 節水		3.0	0.40		-		3.0
1.2 雨水利用·雜排水再利用		3.0	0.60	-	-		
 雨水利用システム 		3.0	0.67	-	-		3.0
2 雑排水利用システム		3.0	0.33	-	-		3.0
2 低環境負荷材		3.1	0.85	<u> </u>	-	3.1	
2.1 資源の再利用効率		2.3	0.37	-	-		
1 躯体材料の再利用効率		3.0	0.67	-	-		3.0
2 非構造材料の再利用効率		1.0	0.33		-		1.0
2.2 持続可能な森林から産出された木材		-	-	•	-		0.0
2.3 有害物質を含まない材料	仕上村・接着剤・塗料全てにおいてF☆☆☆を使用	5.0	0.09	•	-		5.0
2.4 既存建築躯体などの再利用		3.0	0.18	•	-		3.0
2.5 部材の再利用可能性	躯体と仕上材を容易に分別可能	4.0	0.18	•	-		4.0
2.6 フロン・ハロンの回避		3.3	0.18	•	-		
1 消火剤	ハロン消化剤を使用していない	4.0	0.33		-		4.0
2 断熱材		3.0	0.33		-		3.0
3 冷媒		3.0	0.33		-		3.0
├3 敷地外環境		_	0.30	-	-	2.8	
1 大気汚染防止	大気汚染物質の発生を可能な限り抑える	4.0	0.10			4.0	4.0
2 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.10			3.0	
2.1 騒音		3.0	0.50		-		3.0
2.2 振動			-		-		0.0
2.3 悪臭		3.0	0.50		<u> </u>		3.0
3 風害、日照阻害の抑制		3.0	0.15	-	-	3.0	
3.1 風害の抑制		3.0	0.70		-		3.0
3.2 日照阻害の抑制		3.0	0.30		-		3.0
4 光客の抑制	<u> </u>	3.0	0.10		-	3.0	3.0
5 温熱環境悪化の改善	-	2.0	0.30		-	2.0	2.0
6.地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25		-	3.2	
6.1 雨水処理負荷抑制		3.0	0.25		-		3.0
6.2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-		3.0
6.3 交通負荷抑制	近隣地域に配慮した計画	4.0	0.25	-	-		4.0
6.4 廃棄物処理負荷		3.0	0.25		ž.		3.0

■ LR-1 用途別得点表			集合住宅	_	_	_	面積接分	
		15064 m	m – –		-	総合スコア		
1	建物の熱負荷抑制		3.0	-	-	-	3.0	
3	設備システムの	ERRによる評価	-	-	-	-	4.7	
	高効率化	個別数備による評価	4.7	-	-	-		
3.1	空調設備						-	
3.2	換気設備					-	-	
3.3	照明設備		5.0		•		-	
3.4	給湯設備				•	-	-	
3.5	昇降機設備		3.0	-	-		-	